

本ワーキンググループの今後の進め方について

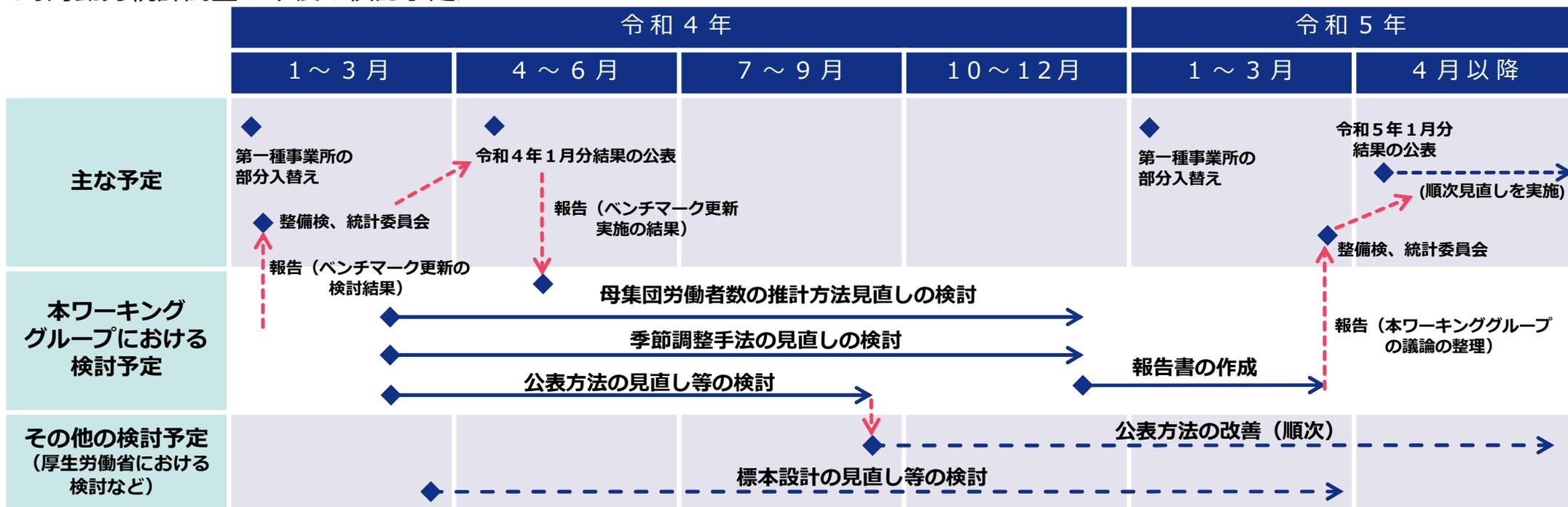
厚生労働省政策統括官
(統計・情報政策、労使関係担当)

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

本ワーキンググループの今後の進め方について

- 本ワーキンググループでは、ベンチマーク更新の実施に当たっての検討を行うとともに、その他の課題（母集団労働者数の推計精度の向上、標本設計の見直し等）についての検討を進めることとしていた。
 - 今般、ベンチマーク更新の対応について一定の方向性が示されたため、今後、その他の課題についての検討を行うこととなるが、
 - ・ 母集団労働者数は、産業・規模別の一人平均の賃金・労働時間等の集計値を積み上げる際のウエイトとなっており、結果に大きな影響を与えること
 - ・ 母集団労働者数の推計方法については、統計委員会や本ワーキンググループでも見直しについて指摘されていることから、今後、**本ワーキンググループでは、母集団労働者数の推計方法について検討を進める**こととしたい。
 - また、利用者の利便性の向上を図る観点から、
 - ・ **季節調整手法の見直し（X-12-ARIMAへ移行等）について、本ワーキンググループで検討を進める**とともに、
 - ・ **毎月勤労統計調査の公表方法について、本ワーキンググループで検討を行い、改善を進める**こととしたい。
- ※ その他の課題（標本設計の見直し等）については、厚生労働省で検討を進めた後、改めて対応を検討することとしたい。

<毎月勤労統計調査の今後の検討予定>



本ワーキンググループ及び統計委員会等で指摘されている主な検討課題 (第3回ワーキンググループ資料の再掲)

毎月勤労統計調査の改善として、調査方法、標本設計、推計、公表などで、今後検討すべき課題がある。

調査方法・標本設計

- 地方調査と全国調査を合わせた設計の検討
- 調査対象事業所数の見直し（500人以上規模事業所の全数調査の在り方の検討など）
- 調査員への依存度の少ない、安定的に調査が実施できる方法の検討
- 企業にとって負担のない形での調査方法の検討

推計方法

- 母集団労働者数の推計における雇用保険データによる補正の適合度合い（0.5）の検証
- 回収率を考慮した推計方法の検討
- ベンチマーク更新で結果がゆがまない計算方法や遡及推計の在り方の検討

公表関係

- サンプル入替えやベンチマーク更新に関する情報開示
- 利用者が使いやすい形での公表方法、数値に訂正が生じた場合の通知の方法
- 季節調整手法の見直し
- 地方調査について、都道府県間の公表様式の統一
- 統計結果の誤りが生じないための工夫

※ 検討に当たっては、標本設計と推計方法など、相互に関連する内容があることに留意が必要。

本ワーキンググループにおけるこれまでの意見等（未定稿）

調査方法・標本設計

- 調査対象企業の対応や、調査員が高齢化して調査員が見つからないなど、調査環境が悪化しているとの話を聞いたので、このような調査環境の変化に対応するための方策を検討しておくということが必要ではないか。
- オンライン調査の利用促進による回収率の変化や異常値の発生状況等、分析を行っていただきたい。オンライン調査の回答状況等の分析を行うことで、調査員調査に依存しない調査方法や、回収率向上につながるのではないか。

推計方法

- 雇用保険データによる補正の検討は重要であり、検証が必要。
- 母集団労働者数の推計について検討する際に、雇用保険データによる補正だけではなく、調査対象事業所の規模が変わった場合の抽出率逆数の取扱いも併せて検討してはどうか。
- 規模の大きな企業から回答が得られない場合や無回答が増加した場合を考えて、補完処理を導入するなど、無回答の処理の検討が必要ではないか。
- 推計方法について、現状の層は少し細か過ぎるのではないか。層の併合や集計用乗率の取扱いも含めて、推計方法全般の検討を行う必要があるのではないか。
- 以前、抽出率逆数を丸めて整数化して集計していると聞いたが、推計値に影響している可能性もあるため、丸めの影響を評価していただきたい。

公表関係

- 結果表章の統計表の様式が分かりにくいいため、公表する統計表の形式についても、利用者にとって使いやすい形式に検討いただきたい。
- 地方調査の結果は、都道府県ごとにホームページに載っているが、フォーマットがそろっておらず使いづらい。
- 地方調査票の活用方法を検討することも重要ではないか。
- 毎月勤労統計調査では訂正が多いため、できるだけ訂正が起きない工夫が必要ではないか。また、希望者がメールアドレスなどを登録しておくことで、訂正の連絡などできないか。